



## トピックス要約 日本-SADCビジネスフォーラム

### サハラ以南のアフリカ（SSA）

アフリカの発展は顕著であり全般的に見てアフリカ大陸の展望は明るいといえる。昨今では物価減少が懸念されるが、アフリカは未だ成長をしている。サハラ以南のアフリカ地域は過去20年、堅調に成長をしており、国際金融危機のさなかでも著しい成長を遂げていた。経済的な安定により、アフリカは先進国、新興国にとっても投資先としてますます注目されている。アフリカは大きな潜在性を有しており、世界の30パーセント以上の天然資源を保有する。適切な管理がなされれば、こうした資源は経済成長と発展のための無比の機会となる。インフラ面での大きな制約を軽減する上でもこうした資源は有効である。しかしながらまだいくつかの課題もある。貧困度は容認しがたいほどに高く、不平等な状態が著しく、繰り返しおきる内戦に直面している国もあり、脆弱性から脱するために戦っている状態である。したがって、成長の富をより広く分け合い、成長がより持続的なものであることが重要である。

### 南部アフリカ開発共同体（SADC）

世界経済は大恐慌以来の危機を脱するべくもがいているものの、その回復は弱く不均衡である。これはSADC地域にとっても懸案である。先進国経済と同様に、アフリカの主要な貿易パートナーである新興市場の経済も低成長である。物価も下落している。また、外部的な金融状況の引き締めが行われ、金融政策が安定することによって潜在的に市場の不安定さが増す。こうした不確実性は、政治的助言、技術支援、財政支援を必要としているSADC地域にとっては脅威であるゆえにこのフォーラムは重要である。

SADCにとって優先すべき重要政策は良き統治、透明性、健全な経済体制を確保する強力な機関を構築することである。機関的な統治体制を強固にすることで、地域のもつ莫大な資源の恵みをより適切に管理することが可能になる。透明性を確保することで、説明責任を果たすこととなり、資源が全ての人のための利益に利用されることが担保される。SADCはその成立以来、アフリカのことわざの精神である『急ぐのであれば一人で行きなさい、遠くまで行くのなら共に行きなさい』を自らの運命と共に進んできた。15カ国からなるSADC地域には、国内生産と国際的な貿易の両面から大きな経済的潜在力を有する。我々はSADC内できわめて重大な変遷を目にしてきた。いくつかの課題が残されていることは確かであるもののSADC地域には莫大なチャンスがある。こうした課題は持続的な強い経済と社会政策を通して克服されるだろう。SADCは包括的で労働を豊富に生み出す持続可能な成長戦略を達成するべく懸命に取り組んでいく。SADC地域は域内で得た利益を他のアフリカの地域経済共同体へと拡大し波及させる用意がある。そうすることで他の地域の脆弱性が克服され、力強い機関が構築され、取

り残される国や地域が生まれないことを確保する。昨今のCOMESA-EAC-SADC、3共同体の拡張といえる3地域自由貿易地域は26カ国からなる統合市場である。3地域の合計GDPは1.3兆ドル（2014年）、域内人口は6億2500万人で、アフリカ全人口の57パーセントに相当し、域内の面積は1730万平方キロメートルである。

### **SADC-日本ビジネスフォーラム**

ビジネスフォーラムはSADCと日本の民間セクター、投資家、金融機関や企業パートナーとの間での情報・意見交換の場となる。本フォーラムではSADC地域の統合課題を検討し、改訂版地域戦略的開発計画指標（RISDP、2015～2020）及び産業化戦略ロードマップ（2015～2063）に包括されているSADCの優先事項を共有する場である。

こうした画期的な産業化計画の達成には、SADCは日本の民間セクターと手を取り、SADC地域への投資を促進させ、同地域が投資先の選択肢となるべく政策や戦略について話し合うことが重要である。歴史的にも重要なことに、第6回TICADが2016年8月に初めてアフリカで開催されることもあり、本フォーラムの開催は非常に時宜を得たものといえる。

### **全体会議1：クオリティインフラストラクチャ（物流、交通、水）**

アフリカ大陸ではインフラの開発が多く地域で未発達であり、こうした事態がビジネスや社会にとって大きな足かせとなっている。アフリカにおいてインフラの格差を埋めていくことは極めて重要である。インフラの構築、すなわちエネルギー、道路、技術網は強力で持続可能な経済の要である。より良質なインフラは外国投資をひきつけ、多様化を加速し、雇用を生み出すことにつながり、さらなる地域統合を進める助けとなる。これまでのところ、インフラの格差を埋めるためのコストは甚大である。投資を必要とする多くが、大規模、先行型であるため、投資先の選定には注意が必要である。また、予算面では中長期的な管理と実施を要する。SADC加盟国では、電気、道路、鉄道網といった分野の地域的インフラプロジェクトが始まっている。こうした投資は持続的かつ拡張的な成長に不可欠である。

### **全体会議2：ICTと社会イノベーション**

アフリカには大規模で成長を続けるテレコミュニケーションの市場があり、世界的な平均を上回る高度な成長と収益性を享受してきた。こうした高度な成長と投資は、技術の発展と強い人口動態により支えられてきた。

アフリカのテレコミュニケーション分野における次章は急拡大するデータ通信に対する需要と利用者のさらなる拡大にどう対応するかという点にある。巨大な潜在力はビジネ

スコネクティビティのコアに賢い投資を行う優秀なネットワーク事業者によって取り込まれるであろう。

アフリカのより都会的で情報通の若年人口の増加により、今後将来にわたり利用者の増加が見込まれる。技術によって利用者の範囲が拡大し、多くの人々が金融サービスにアクセスできるようになる。貧困層こそがモバイル技術の拡張とサービスのアクセスによりその利益の多くを享受できるようになるのである。

### 全体会議 3 : アグリビジネスと食料安全保障

アフリカには農業生産の規模と価値を引き上げる甚大な潜在力があり農業関連ビジネスの拡大も大きく期待される。新しい技術とインフラがもたらすアフリカのグリーンレボリューションにより農業生産が大きく増加するだろう。その効果は農村部の収入を増加させ、GDPの成長を加速し、大きなビジネスチャンスをもたらすことになる。アフリカの低い農業生産の背景にはいくつかの要因がある。不十分なインフラ整備によって農産物の流通には多くのコストがかかる。不十分な金融システムのせいで多くの農家は高価な機械や高収穫種、肥料を購入することができない。農業の転換には課題があるものの、先行は明るい。農業はアフリカ全GDPのおよそ15パーセントを占め、非常に多くの雇用を創出している。グリーンレボリューションによって2020年までに農業生産の価値が5000億ドルにまで上昇し、2030年には8800億ドルに到達するといわれている (McKinsey)。こうした大きな成長は肥料や種、農業機械といった上流商品の需要をも増加させることとなり、一方で穀物の精製やその他の食品加工、バイオ燃料といった下流の活動にも拍車をかけることになるだろう。

### 全体会議 4 : エネルギー・環境

アフリカ大陸における一人当たりの電力生産量は数十年間おおむね横ばい状態である。SADC加盟国はインフラ格差を縮小するため、エネルギー部門における投資の拡大、電力の国際貿易を促進するプロジェクトの展開、地域的な電気インフラプロジェクトの立ち上げ、などの対策を講じている。

環境面での課題： 気候変動や継続的な成長への需要は天然資源の持続可能性を圧迫し、格差や排斥をさらに深刻化させている。発展を促進するために包括的で環境的に持続可能な政策を実施することが課題である。

### 全体会議 5 : SADC 加盟国におけるビジネスの展開 (ファイナンス、M&A、リスク管理)

公共投資の強化および債務管理能力は増加する資金調達オプションをうまく活用し各国をさらに優位な立場に置くために非常に重要である。

## 全体会議 6： グローバル・ヘルス

アフリカの製薬市場は成長著しいセクターである。この成長にはいくつかの“影響を与えるもの”が存在する。まず、急激な都市化によりアフリカの人口は大きく変化している。2025年までには、5分の2の経済成長は200万人以上の人口を擁する30の都市によってもたらされ、それらの都市の多くは200億ドルを超えるGDPを持つとされている。都市はよりよい物流インフラおよび医療体制を享受しており、都市家庭においては購買力が高まり、よりスピーディに新薬を取り入れている。

次に、アフリカ諸国における医療体制は増強されつつある。2005年から2012年の間にアフリカでは70000床の病院用ベッド、16000人の医師、60000人の看護師が追加された。医療の提供は、モザンビークにおける麻酔専門看護師への転換や南アフリカの看護師による抗レトロウィルス療法の導入などによってさらに効率的になってきている。革新的なデリバリー・モデルの導入により体制はさらに強化されつつある。

また、ビジネス環境はさらに協力的なものになっている。アフリカの政府は国内製薬業者を支援するために価格管理・輸入制限の導入、偽造防止・並行輸入削減のため各国ごとにラベル表示の義務付け、輸入・卸売・小売マージンに対する法律の強化などを行っている。医薬品産業において、製薬チェーンは力をつけてきており、水平・垂直統合なども増加傾向にあり、製造業は非常に伸びている。数多くのM&A、ジョイント・ベンチャー、戦略的提携、パートナーシップ、そしてプライベート・エクイティ取引などによりアフリカのマーケットはさらに拡大している。

減速・停滞する世界のマーケットにおいて、アフリカは高度成長を遂げることのできる最後の地理的フロンティアであることを示している。従来通り、成功への鍵はそれぞれのマーケットを細部にわたって理解することにかかっている。適切なアプローチを取る先行者には競争優位を手に入れることができる。製薬業者にとっては、この成長に加わるか、そしてさらに重要な事として公衆衛生を向上させるため積極的な役割を果たすかどうかを決断する時である。

## 全体会議 7： 人材開発

人口統計学的観点から見て、アフリカは若い大陸である。アフリカの未来は人口増加による配当をしっかりと確保するための鍵となるその人々にかかっている。2040年までには、中国とインドを合わせた数より多い10億人という世界最大の労働力を誇る大陸になると予測されている。増加し続ける人的資源の宝庫の生産部門への投資は、比較すべきものがないほどの経済的・社会的機会を提供する。

質の高い教育、医療、インフラサービスへのより広いアクセスにより、5人に1人しかフォーマル・セクターとされる仕事を見つけない、という現在のアフリカの傾向を覆すような民間セクターにおいて良い雇用が生み出される可能性がある。約3

00名の研修生が参加するABEイニシアティブはアフリカとのビジネスへの関心を表している。このイニシアティブはアフリカと日本をつなぐ貴重な機会を提供しており、地理的距離を縮め、知識やスキルを明日の産業界のリーダーである若いアフリカ人に移転する手助けとなる。